

CSR Communication Book

CSRコミュニケーションブック

2019

信頼を未来へ。東京建物。



東京建物グループ



東京建物のCSR情報

東京建物では、本冊子のほかにも
WebサイトでCSR情報を発信しています。

www.tatemono.com/csr/

東京建物株式会社
Tokyo Tatemono Co., Ltd.

本社 〒103-8285
東京都中央区八重洲一丁目9番9号
東京建物本社ビル

制作：東京建物株式会社 広報CSR部
TEL. 03-3274-1984

発行：2019年3月



社会的価値創造のあゆみ



東京建物は100年以上にわたり、「まちづくり」を通じて社会にさまざまな価値を提供してきました。「信頼を未来へ」という企業理念に基づき、「都市の未来に貢献する」まちづくりを実現していきます。

1896—1945 創業から終戦期

社会に住まいを広げる不動産業の草分けとなる

明治29年 東京建物設立

1896

住宅ローンの原型となる「割賦販売方式」を開発

個人金融業者に頼ることしかできなかった住宅の建築や不動産売買における資金調達を、法人組織として初めて事業化



安田財閥創始者・
安田善次郎により設立

明治30年代 不動産鑑定業を開始

不動産鑑定業界における草分けとなる

昭和4年 「東京建物ビルヂング（現・東京建物本社ビル）」竣工

1929



2019年で築90年を
迎える

昭和12年 湯河原にて別荘分譲開始

1937

総合不動産会社への歩み始める

1946—1979 戦後から高度成長期へ

需要の高まりにマンションとオフィスビルで対応

昭和39年 「横浜駅西口ビル」竣工

1964

1棟の建物を区分して所有する「区分所有ビル」の始まり



昭和37年 「新宿ビル」竣工

1967

小田急百貨店が本ビルで開店

昭和43年 藤沢市にてマンション分譲を開始

1968

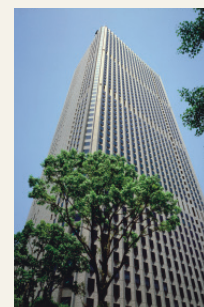
東京建物初のマンション



昭和54年 「新宿センタービル」竣工

1979

新宿新都心開発の先駆け
西新宿超高層ビル街の玄関
口に立地する新宿新都心の
ランドマーク



1980—2000 高度成長期以降から100周年へ

都市開発や証券化、不動産業はより高度な役割へ

昭和62年 「大崎ニューシティ」竣工

1987

都市開発は一棟のビルから地域の一体的な再開発へ

大崎駅東口を副都心として発展させた、東京建物初の本格的な都市再開発事業



昭和63年 ホテル「レジーナ河口湖」オープン

1988

多様化する時代のニーズに応えリゾート事業も多様化へ後にゴルフ場、温浴施設も展開



平成8年 創業100周年

1996

「信頼を未来へ」という企業理念とシンボルマークを制定



企業理念

「信頼を未来へ」

世紀を超えた信頼を誇りとし、
企業の発展と豊かな社会づくりに挑戦します。

平成10年 SPC法（現・資産流動化法）国内第1号登録取得

1998

不動産証券化ビジネスのパイオニアに

2001—現在

安全・安心・環境、多様化した社会に多様な価値を

平成15年 マンションブランドを『Brillia』に統一

2003

竣工前に建物内を見学できる「建築現場見学会」を業界に先駆けて導入し、お客様に安心を提供

Brillia



平成21年 サービス付き高齢者向け住宅「グレイプス浅草」竣工

2009

高齢化社会に向けてシニア事業参入

平成21年 「新宿センタービル」長周期地震動対策実施

2009

安全へ先進技術を導入、世界で初めての既存超高層ビルへの地震対策

平成25年 「Brillia 多摩ニュータウン」販売開始

2013

老朽化する集合住宅の再生に取り組み、日本最大級のマンション建替えプロジェクトを完遂

平成26年 「大手町タワー」竣工

2014

東京建物がめざす、人と社会と地球環境と向き合った“100年先の街づくり”のモデルとして、「大手町の森」で本物の森を忠実に再現



平成28年 東京建物キッズ設立

2016

保育所不足に対応して保育事業参入

2030年 持続可能な社会づくりに向けて

東京建物グループは、持続可能な社会づくりのために国連サミットで採択された2030年までの国際的な目標「SDGs（持続可能な開発目標）」の理念に共感し、デベロッパーとしての事業活動を通じて、社会の課題解決に貢献します。



魅力的で持続可能な都市・社会を目指す拠点づくり

知見の提供、コミュニティづくり、ビジネスの創出を一貫して支援するスペース「シティラボ東京」を設立しました。



国産の間伐材や再利用材を各所に使用

発想のきっかけとなる
専門書ライブラリーを設置

会議室ゾーンの壁面はスクリーンでありながら、議論のできる巨大なホワイトボードでもある

「シティラボ東京」は2018年12月、銀座線京橋駅直結の東京スクエアガーデン6階にオープンしました。目指しているのは環境課題への対策を主眼に、持続可能な都市・社会の形成に寄与する場になること。新たなイノベーションを生み出すためのイベントも行われます。

ワーキングスペースの他、100人までのセミナーイベントが可能な貸会議室もあり、地域の方や専門家、スタートアップ等の知見をつなぐ場として、イベントやセミナー等が行われています。都市の課題を解決するビジネスを育て、持続可能な都市・社会づくりに貢献することを狙っています。

ソーシャルアパートメントという新しいライフスタイル



作業や打合せができる
コワーキングスペース

セミナー等が可能な
マルチパーパススペース

社員寮等で使用されていた建物をリノベーションすることで、新しい価値を提供します。2018年6月にオープンした「NEIGHBORS 浮間公園」は、共用施設に様々な機能を備え、生活の中に「交流」や「入居者コミュニティ」を創出。新たなライフスタイルを提案しています。

スタートアップにとっても魅力的なまちへ



打合せスペースもあるエントランス

オフタイムに議論を交わせるラウンジ

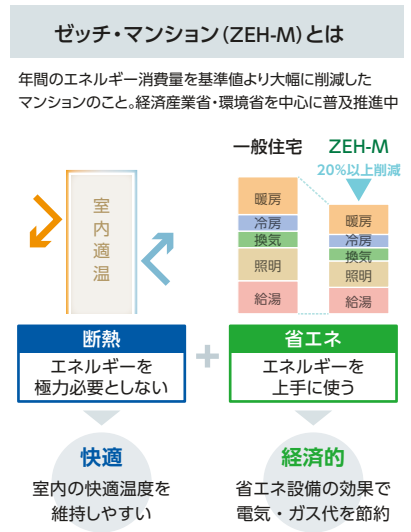
イノベーションが起きる場を提供することによって、社会課題解決に貢献します。2018年4月、「xBridge-Tokyo」はスタートアップを支援する施設として東京建物本社ビル内にオープン。八重洲・日本橋・京橋エリアの大企業との架け橋 (Bridge) となります。

環境に配慮した暮らしを日常から無理なく実現

東京建物はゼッチ・マンション(ZEH-M)の普及を推進します。



お住まいの方が意識せず無理なく省エネできるよう、建物の断熱性を高め、高性能な省エネ設備・機器を可能な限り採用するようにしています。「Brillia 弦巻」は、経済産業省の高層ZEH-M実証事業(平成30年度)に東京都で唯一、採択されたマンションです。



外壁の断熱性能向上や高断熱サッシ、高効率給湯設備の採用などでゼッチ・マンションの基準を満たしています。東京建物は、2030年までの中長期的な計画を立て、ゼッチ・マンション普及に向けた取組みを進めつつ、地球温暖化対策に貢献していきます。

「働き方改革」を住まいから応援する



ブリリアブloomoiプロジェクトは、女性の多様化したニーズに応える住まいを考え、実現します。働き方改革を「職場」だけのことではなく「自分ごと」としてとらえ、在宅ワークも意識した無線LAN標準装備、家事を並行しやすい間取りなど女性の社会進出に貢献します。

日常を守る「管理」の質を高める



管理現場で求められる専門技術や知識を習得できるよう、東京建物アメニティサポート本社には「Brillia 研修センター」が設けられています。実際の機器を使用し、現場と同じ環境でより実践的な訓練ができるよう設計されています。

歴史ある祭りに地域の一員として参加する

日本三大祭の一つ「山王祭」の神輿渡御に東京建物グループ従業員約650名が参加しました。



「山王祭」は天下祭と謳われ、日本三大祭りの一つです。2年に一度のお祭りは、東京建物本社がある八重洲・日本橋・京橋地域の大切な行事です。まちの伝統に積極的に参加し、伝統文化の継承に寄与することは、私たちの大切な責任です。

伝統を伝えるために、さまざまな方法で山王祭に関する情報発信もしています。地元町内会の方々と一緒にお祭りを盛り上げていくことで、地域の歴史や文化を深く知り、この地を愛する人が増え、伝統が継承されていくことを願っています。

管理組合と二人三脚で歩む



東京建物グループは、マンションのコミュニティ醸成につながるよう、季節イベント（クリスマス、七夕など）や消防訓練、植栽づくりなどを管理組合と共に企画し、その運営にも協力しています。

これから住む地域とのコミュニティづくり



マンション内だけでなく、地域との交流・コミュニティづくりも重要です。「Brillia 品川南大井」は、販売センターに地域の皆様も使用可能な「Loco-cafe “oooi”」を併設。イベントやスペース貸出で、入居前から地域との交流促進・コミュニティ形成を支援します。

愛犬は家族の一員。愛犬にも健康とくつろぎを

愛犬と宿泊できるリゾート施設「レジーナリゾート」に初めてのドッグフィットネスを導入しました。



「専用の流水プール」
水中での運動は足腰に負担を
かけることなく有酸素運動が
できます



「ペット用ウォーキングマシン」
運動不足の解消はもちろん、
さらなる体力アップにも



「バランスボール」で
愛犬の身体のバランスや筋力、
しなやかさを維持・向上

「レジーナリゾート」は「人も愛犬もどちらもリラックスできるリゾート」です。「傷や汚れのつきにくい床」「愛犬同伴で利用できる食事会場」「個別のドッグラン」など、家族の一員である愛犬と安心して宿泊できるよう、さまざまな取組みを行っています。

2018年7月南房総にオープンした「レジーナリゾート鴨川」では、初のドッグフィットネスを導入。研修を積んだトレーナーが、愛犬の筋力や柔軟性、バランス力、メンタルを向上するプログラムを提供し、人と動物のよりよい共生社会づくりに貢献します。

「おふろの王様」は災害時に施設を提供します



露天風呂や岩盤浴を備え
南関東に1Q店舗を展開

温浴施設「おふろの王様」は、大地震などの際、お風呂を被災者などの入浴施設として提供する協定を綾瀬市と結んでいます。東日本大震災の時も被災者にお風呂を提供しており、有事のときこそ地域の皆様に貢献できる施設を目指していきます。

「アートの力」を社会貢献活動に活かす



「SMARK」は2018年11月に
創業10周年を迎えました

coinsあかぎ

coinsはるな

coinsみょうぎ

群馬県伊勢崎市にある大型商業施設「SMARK伊勢崎」で、アーティスト長谷川 仁氏による上毛三山（群馬県にある赤城山・榛名山・妙義山）を象ったアート募金箱「coins」を設置。募金は県内の環境保護団体へ寄付し、地域の環境保護にも寄与していきます。

東京建物グループの事業

東京建物グループは、
 お客様の一生に寄り添う多様な事業を展開し、
 ハード面のクオリティだけでなく、
 上質なソフトやサービスを追求することで
 “お客様が驚きを感じられる魅力あふれる価値”
 を提供します。



◎ 東京建物グループの概要

東京建物株式会社 Tokyo Tatemono Co., Ltd.

創立：1896年(明治29年)10月1日

本社：〒103-8285
 東京都中央区八重洲一丁目9番9号
 東京建物本社ビル

代表者：代表取締役 社長執行役員 野村 均

資本金：924億円(2018年12月末現在)

従業員数：616名(2018年12月末現在)

連結従業員数：5,010名(2018年12月末現在)

◎ 連結営業利益 (単位:億円)

